

五藤市長が初登庁

4月14日、三原市の第2代市長として五藤康之市長が初登庁しました。五藤市長は、午前9時に市役所に到着。市職員から花束を贈られ、拍手で迎えられました。

市役所議会棟で行われた登庁式で、市議会議員や職員ら約200人を前に五藤市長は「住み続けたい元気なまちを創ること、まちも人も安心して元気で輝くことができ、誰もが幸せを実感できる三原市をつくることが使命と思っています。多様な市民の皆さんの英知を結集していただき、使命の実現に向け全力投球します」と2期目の抱負を述べました。市職員に向けては「私の使命をしっかりと受け止め、失敗を恐れずに、市民福祉向上のために一層奮起していただきたい」と期待を込めました。

これを受け、職員を代表して安井副市長が「五藤市長のまちづくりの使命をしっかりと受け止め、みんなで力を合わせて、誠心誠意、職務にあたります」と決意を述べました。



▲職員に出迎えられる五藤市長

新入学児童へ防火定規を贈呈

防火安全協会と消防本部は、幼年期における防火意識の普及啓発を目的に、初めて、消防署管内(市内31校、世羅町内10校)の新入学児童1,019人に、「火のようじん!」「火あそびはやめましよう!」「火事と救急は119」と防火標語が印字された防火定規を贈呈しました。

4月16日、その代表校として三原小学校で贈呈式が開催されました。

式では、新入学児童85人に森谷校長が「火事に合わないよう気をつけましょう」とあいさつ。中村消防長が「火は大切なもの、使い方を間違えると火事になります。火遊びはしないよう、よく守ってください」と児童たちに呼びかけると、「はい!」と大きな声で返事がありました。保道慶征防火安全協会長からクラス代



表の3人へ定規が贈呈されると、児童たちは「大切に使います」と元気な声でお礼を言い、「火あそびはしないようにしたい」「定規は勉強に使いたい」と笑顔で答えました。



▲火あそびはしないように、定規は大事に使います

エコ電球引換券と住宅用火災警報器購入助成券 取扱登録店の募集説明会を開催

4月16日、中央公民館で、市内の電器店などを対象に、エコ電球引換券と住宅用火災警報器購入助成券の取扱登録店の募集説明会を開催しました。

説明会では、参加した63事業者に、各事業の概要や運用の流れを説明しました。

エコ電球交換事業では、環境意識の向上とCO₂排出量の削減を図るため、市内の全世帯に、無料で省エネ・長寿命タイプの電球型蛍光灯(エコ電球)1個と交換できる引換券を送付します。エコ電球の消費電力は10ワット、製品寿命は1万時間以上で、一般の白熱電球(54ワット)と比べ、消費電力は5分の1、寿命は10倍以上になります。6月30日(火)までに各世帯へ引換券が送付され、7月1日(水)～8月31日(月)の期間、市内の取扱登録店で引換券とエコ電球が交換できます。

住宅用火災警報器購入助成事業では、警報器の設置率向上と火災の早期発見・被害の軽減を図るため、市内の全世帯に、警報器の購入費を2,000円助成する助成券を送付します。6月30日(火)までに各世帯へ助成券が送付され、7月1日(水)～10月31日(土)の期間、市内の取扱登録店で助成券を利用して警報器が購入できます。また、すでに警報器を設置している場合は、消火器や避難用ライトの購入に利用できます。

環境共生都市みはらの実現と住宅火災ゼロをめざし、皆さんと協働で取り組んでいきます。

なお、エコ電球引換券と住宅用火災警報器購入助成券の詳細については、広報みはら6月号でお知らせします。

問い合わせ先 環境政策課(☎0848676194)、消防本部 予防課(☎0848645927)

